



様式第1号

方地集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成28年 8月12日
修正日： 年 月 日

市町村名	湯梨浜町	組織名	方地営農組合
1 地区の範囲 湯梨浜町 方地地区			
2 地区の概要			
水田面積 36.7ha		主な水田栽培作目 水稻、飼料用米	農家数 47戸
認定農業者数 4経営体		人・農地プランの中心となる経営体数	5経営体
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
	【項目】	【現状】	【目標】29年度
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成27年6月28日	平成 年 月 日
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・未組織 ・作業受託型 ・共同利用型 ・協業経営型	・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型
	構成農家数	10戸	10戸
農地の集積	集積面積 A	6.95ha	8.45ha
	対象水田面積 B	14.73ha	14.73ha
	集積率 A/B	47.2%	57.4%
世代交代への取組			
新規就農者の活動参画			

注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。
2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。
3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。
4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。
5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。
6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>農村が抱える課題である農業従事者の高齢化、後継者不足等は、方地地区においても深刻化している。さらに、個々の農業者が農業機械を整備・更新すると負担が大きくなり、個人で農地を維持することが困難となると、たちまち耕作放棄地の発生が危惧される。</p> <p>こうしたことから、平成27年に地域の農地は自分たちで守ることを目的として、方地営農組合（以下、「組合」という。）を組織し、主に方地地区の耕作が出来ない農業者の農地の耕作を行うこととしている。</p> <p>水田利用集積は、現在、主食用米6.95ha 作付けしており、今後は収穫作業の受託を含め8.45ha を目標にする。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>組合としては、水稻経営を基幹として地域の農業・農地を守るとともに、生産調整については町内の配分面積に従い、協力していく。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>当該組合は、集落内の農業者の生産コスト低減等を図るため、農業機械の個別導入をできる限り回避する方向である。現在は個人所有の機械を借りているが、今後については経営の安定化を図るため、組合で機械を整備していく。なお、収穫後の乾燥・調整作業については全てJAの乾燥調製施設を利用する。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>本集落では、近年定年退職者2,3名を勧誘しているところであり、今後は、これら若手を中心に機械作業技術習得を進めオペレーター育成を図り、安定的に運営できる体制を整えて行く。</p>
5 経営多角化の方針・具体策	<p>組合の経営発展のため水稻の経営に加え、ロールベアラを活用したわら収集(一部作業受託)及び畜産業者へのわら提供を行い、収益向上を目的に経営の多角化を図る。</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	刃幅1,450mm	1台	8,586,000	平成28年10月	○
ロールベアラ		1台	1,404,000	平成28年10月	○